

東北関東大震災 支援者のみなさまへ

避難所ですごす子どもたちのための、あそびマニュアルです。

新聞紙とテープとゴミ袋で遊べる方法

をご紹介します。

子どもたちのために、ご活用ください。

現場の実情にあわせて、可能な部分のみ、参考にさせていただければと思います。

特定非営利活動法人

東京学芸大学こども未来研究所

新聞紙シリーズ

・新聞紙の大空

【出典：東京学芸大学准教授 石井壽郎】



東京学芸大こども未来プロジェクト
Tokyo Gakugei Univ. the Future of Childhood Project

東京学芸大こども未来プロジェクト
東京都小金井市貫井北町4-1-1
Tel: 042-329-7795
Mail: codomo@u-gakugei.ac.jp

新聞紙のきんとうんを広げていこう



新聞紙の大海 詳細

- 1：まず新聞紙を持てるだけ持って、新聞紙1枚の上に立つ。(悟空のきんとうん)に乗る。
- 2:今から床は大空の上です。持っている新聞紙で 自分のきんと雲をどんどん大きくして友達と合体 させてどんどん広げよう。*子ども一人に1つセロテープが望ましい。セロテープが燃えないゴミの自治体は紙のテープ。

なるべく1つの大きな雲になるように



雲が大きくなり、1面の新聞紙になったら

- 3：子どもたちに一列に並んでもらい、今度は鳥に変身!雲の下を潜ってみよう!

一列に並んでリズムを合わせて雲の下をもぐる。

*一方通行にしないと、ぶつかって危険です。



こうなったら後は自由

8

4：あとは自由に新聞紙をぐちゃぐちゃにして遊びます。

言わずもがな、子どもたちは激しく新聞紙を引き裂き、宙に舞って遊びます。

できるだけ細かくちぎる方向がかまいません。そのほうがゴミ袋が少なくて済みます。



子どもたちが飽きるまで(時間まで自由)

10

5：後片付けも遊びにします。

「次に袋に新聞紙をつめて大きなボールを作るよ！」

スタッフがゴミ袋を広げ、子どもたちがつめる。最後のかけらがなくなるまでボールにしない。

大体ここまで1時間ほど

11

6：ボールにして遊ぶ子もいますが、多くは疲れてこんな感じです。

